



医療の質・安全に役立つ 心理学研究を考える

超高齢社会と急速な社会情報化の下、医療・医学も「白い壁」を越えて一般社会との連続性の中で、質と安全を考える必要が明らかになってきました。「人の心のメカニズム」を明らかにする心理学は今、もっと医療・医学に役立つ研究成果を提供できるのではないのでしょうか。本会は、医療の現場あるいはその近くから、心理学の研究を通じて医療・医学に寄与したいとする研究者が集まり、「医療医学の質・安全に貢献できる心理学研究の在り方」について考えます。

●京都会場

話 題 提 供 者	テ ー マ
楠見 孝 (京都大学大学院教育学研究科)	健康・医療情報を読み解く健康リテラシーと批判的思考力
石松 一真 (滋慶医療科学大学院大学)	メタ認知と安全：エラーを検出する医療従事者の個人特性
南部 美砂子 (公立はこだて未来大学)	これからの医療と情報：患者と医療従事者を結ぶ情報
原田 悦子 (筑波大学人間系心理学区)	「使いやすさ」と医療安全：在宅医療まで視野に入れて

●東京会場

日比野 治雄 (千葉大学大学院工学研究科)	デザイン心理学による医療現場への貢献
須藤 智 (静岡大学大学教育センター)	在宅医療：加齢による変化と医療機器のありかたを考える
原田 悦子 (筑波大学人間系心理学区)	リスク共有コミュニケーションと医療情報化
下島 裕美 (杏林大学保健学部)	時間的展望から死生学教育を考える

企画

原田 悦子

(筑波大学人間系心理学区)

司会

箱田 裕司

(京都女子大学発達教育学部)

原田 悦子

2014 7.19 SAT

13:00~17:00 定員289名【入場無料】

■京都会場

キャンパスプラザ京都 第2講義室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939 (ビックカメラ前、JR京都駅ビル駐車場西側)

▼京都市営地下鉄烏丸線 京都駅、JR 京都駅、近鉄 京都駅 徒歩5分

●案内図 http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?co=cat&frmid=585&frmCd=14-3-0-0-0



2014 7.26 SAT

13:00~17:00 定員278名【入場無料】

■東京会場

東京大学 弥生講堂一条ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

▼東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩1分

●案内図 <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>



お申込みはE-mail、Fax、往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。(E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください。) ※各シンポジウムごとにお申込みを受け付けております。他のシンポジウムへの参加を希望される方は、別途お申込みください。

お知らせ頂いた個人情報は、シンポジウム受付の目的にのみ利用します。

公益社団法人日本心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル

Tel.03-3814-3953 Fax.03-3814-3954 E-mail:jpa-event@psych.or.jp <http://www.psych.or.jp/>